発　行　社会福祉法人土穂会
ピア宮敷
住　所　千葉県いすみ市岬町岩熊138-10
ＴＥＬ　0470-87-9631
ＦＡＸ　0470-87-8112
Ｍａｉｌ　miyasiki@bz01.plala.or.jp

かえで

かえで／第34号
発　行　日　2014年5月17日
発行責任者　内野　浩二
編　　集　吉田　和之
ＵＲＬ　http://piamiyasiki.jp/

平成26年度事業にあたり

施設長　内野　浩二

3・11の東日本大震災から3年が経過しましたが、遅々として進まない復旧・復興。地震・津波や原発事故で今なお26万人の方々が避難生活を強いられています。一方、わずか3年ながら私たちの記憶からは風化が進みつつある現実。そんな中、今冬突如、北関東を中心に県内にも襲いかかった大雪災害や、今後30年以内に70％の確率で発生すると言われている東海・東南海・南海3連動巨大地震（房総半島東方沖はさらに不確定リスクが高いといわれています）。今改めて、災害への備えを見直し、3・11をベンチマークとした対策、適切なリスクマネジメントが必要です。このことは災害対策に止まらず、日々の法人経営や利用者支援にも当然活かされます。単に危険を見つけ出して解消しようとするだけの活動ではなく、より良いサービスを提供し、自らの価値を高める活動です。支援現場への目配りを適切に行い、情報の共有化・見える化を徹底する。〝ひやりはっと〟の意識も重要なツールでしょう。孤立化や密室化を防ぎ、困難事例は逆に支援力向上のチャンスと捉えます。

一方、昨年末頃より、具体的な言及が始まった『社会福祉法人の在り方』に係る議論。積極的な情報公開（遅ればせながら、当法人もようやくWebサイトを開設いたしました）や、より明確な地域貢献・社会貢献が求められています。センスを磨き意識の向上が必要で、そのための基本となるのが人材育成です。専門性・組織性・社会性の視点から成長を促す取り組みを実施します。新たに導入となった障害支援区分は、専門性獲得のための強力な教育ツールとしても活用できるでしょう。また、コンプライアンスの徹底による組織の構築、ガバナンスの確立により真の地域貢献を図ります。

東京オリンピックが決定し、経済活動が活発化していくことが予測され、社会福祉の優先順位が相対的に後退する中、ピンチはチャンスに。そして、ポジティブにチャレンジする平成26年度とします。

4月29日 ガーデンパーティーを開催しました！

新緑まぶしく、春風爽やかなこの季節。ピア宮敷芝生中庭を会場にしての楽しいパーティーとなりました。遊戯コーナーや軽食の模擬店等々、決して豪勢ではなく手作り感たっぷりの素朴なものでしたが、早くも「来年もあればいいのにな一」との利用者さんの声が多数聞かれました。

ピアの杜

▼「伝統は革新の連続である」創業室町後期、500年も続く老舗和菓子の「株式会社虎屋」（羊羹で有名）の社長・黒川光博氏の言葉です。アイデンティティーである「甘く・固く・後味良く」の味を守りつつ、大胆に時代（今）を取り入れる。▼六本木の『東京ミッドタウン』に出店する際、その責任者に社内公募から25歳の女性を抜擢。彼女の「もっと若い方も入りやすく！」との感性で、企業カラーの黒ではなく白を用いて自由に店舗をデザインさせたそうです。羊羹の品質追求は根本にしつつの果敢な冒険です。▼開所から13年目にしての初企画、『ガーデンパーティー』を先日、開催しました。支援スッタフは仮装姿で臨みました。本日のミッションは「利用者さんの笑いを取れ」ナースに変装する者、戦隊ヒーローに変身する者、ド派手メイクのヴィジュアル系バンドが登場し、あの戦場カメラマンまでも。▼仮装した支援員の中には〝眠っていた変身願望〟が目覚めてしまい、今後、人生の転機を迎える方があるかもしれませんが、後世、「あのパーティーがピアの転機だったね」と語られるような挑戦企画となりました。▼我が法人も「障害のある方の幸せのために」という根本は忘れず、時代を感じ、時代に応じ、挑戦し続けていく決意です。500年続くかどうかは別と致しまして…。

日中活動リーダーが平成26年度の決意を表明！

新年度スタート。昨年度の反省を踏まえつつ、今年度に臨む意気込みを語ってもらいました。
夢は大きく、目標は高く！

◆クリーン班

スキルアップ！

石田　久芳

クリーン班の活動は、施設内清掃・洗濯、園庭の草取り、岬公民館及び総合グランドの清掃業務、どんちゃんの店舗内外の清掃など、多岐に亘ります。ご利用者お一人お一人、担当と得意分野があり、日々大変忙しいですが、自分たちの活動に自信と誇りを持って取り組んでいます。

今年度は、さらに精度向上・スキルアップをめざしていただきたいと思います。そして、きちんとコミュニケーションをとり、毎日が充実した生活となるよう支援したいと思います。

また、忙しい毎日ですが、週に1日は創作活動の日を設けています。昨年度は、お正月から創作活動作品展示会をピア宮敷食堂等で開催しました。このことで、ますます創作意欲が湧いたようで、外出しての写生会など楽しい企画も用意しています。作品によっては、外部の作品展などに出展も出来ればと目論んでおります。

◆戸外班

地域交流

伊東　孝浩

一昨年、作物栽培に関して、ことごとく後手に回ってしまったこともあり、昨年は綿密に計画を立て、それを実行することで、当初目標を達成することが出来ました。汚名返上が出来たかどうかはわかりませんが、プロ意識を持って取り組みました。

さて、今年度の戸外班ですが、目標の一つに「地域交流」を掲げました。近隣の小学校と私どもの農場でご利用者と一緒に農作業に取り組み、一緒の時間を過ごしていただこうと計画しました。

まずは、5月にさつまいもの植え付け体験会を行ないます。有意義で楽しい時間となるようしっかり準備したいと思います。そして、10月頃に自分達の植えたさつまいもの収穫をしていただきます。植え付け後の管理は戸外班が行いますが、たくさんのさつまいもが収穫でき、小学生の皆さんに喜んでいただけるよう、責任を持って育てていきたいと思います。

そして、今後はブルーベリーの収穫や作物加工の体験教室など幅広く繋げていけたらと思っています。

この交流を機にピア宮敷を知っていただくとともに、障害者への理解を深めていただけたらと願っています。

◆ステップ班

成長力UP！

真田　卓

今年度は危機管理と地域貢献の2項目に重点を置きます。

危機管理につきましては、ステップ班には重度のご利用者が多く所属しています。そのため、災害時には職員間の連携と迅速な対応が他班に比べてより必要不可欠です。班独自の避難訓練を定期的に実施し、地震や火災などの災害に備えます。

また、ハザードマップもより具体化した内容に変更するとともに、危険箇所があれば、随時活動内容等の見直しをしていきます。幸い、昨年度は活動中の大きな事故はありませんでした。

今年度も引き続き気を引き締めると同時に、班員の行動力・危険回避能力・気付く力を向上させ、より安全に活動に取り組める環境を提供します。地域貢献につきましては、散策時の休憩場所として「童謡の里」を利用していますが、〝地域をきれいに！〟をモットーに、ご利用者と月1回の清掃（草取り・落ち葉拾いなど）や花の栽培を行い美化活動に取り組んでいきます。

最後に、ステップ班の担当職員は、入社年次の平均が約3年と若い職員（年齢は別として）が多く所属しています。経験値は少ないですが、成長力UPという点では1番だと思うので、1人1人が　ONE　RANK上の支援員になれるよう頑張ります。

◆夷隅郡市福祉作業所

情報共有

高井　善崇

今年度の抱負を記事にと編集長に依頼され、実の所いい加減ネタがないと言ってしまいました…。内容を考えること一週間。確か昨年は「考えすぎず、とらわれすぎず。」と抱負を述べていた自分。ところが考えすぎる自分の性分はより強烈さを増し、頭カチンコチンの凍結状態が続きました。一つの物事を進めるには、たくさんの要因が絡んでいて、思いつきだけでは何も進められないとずっと考えていました。ところが、その思いが伝わらず、周囲に迷惑をかけていることも多々ありました。

今年度配属が変わったことで、色々な部分がより広がりそうです。話の場を多くして色々伝達し合い、情報の共有化をしていきたいと思います。物事を客観的にとらえ、考え過ぎるのではなく、適度の間を持って利用者の支援にあたっていこうと思います。

◆第1工房・受注班

「浦島太郎」

吉野　孝志

平成26年4月の人事異動。急な話しでとてもバタバタしたのですが5年間務めた夷隅郡市福祉作業所からピア宮敷第一工房に出戻って参りました。

2年ひと昔と言われるこのご時世に5年ぶりに帰ってきたのですが、以前とは様子ががらりと変わっており、すっかり〝浦島太郎〟状態に陥り、寂しさと戸惑いを感じています。

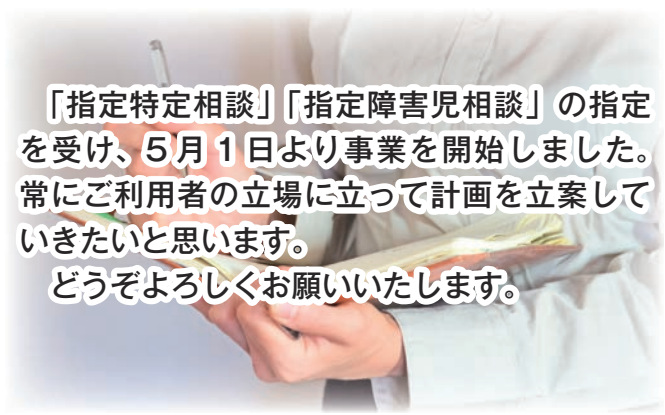
さて、これからの第一工房ですが、目標として『ご利用者が毎日安心して利用してくれること』と掲げました。皆さんに笑顔で安心して利用していただけるように、職員一同きちんと連携を図り、笑いや冗談も飛び出す、和気あいあいとした雰囲気づくりを心掛けていきたいです。

また、より多くのニーズに応えるため、送迎をはじめ各種サービスの充実も図っていきたいと思います。

皆様からの暖かいご支援と、時には厳しいご意見も含め、たくさんいただいてより良い支援に繋げていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

『相談支援事業所ピア宮敷』を開設

相談支援専門員　石原　美奈



「指定特定相談」「指定障害児相談」の指定を受け、5月1日より事業を開始しました。
常にご利用者の立場に立って計画を立案していきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

思い出アルバム

2/20～23 「僕らはみんな生き活き展」茂原ショッピングプラザアスモ ～お買い上げありがとうございました～

障害を持った方々が作った製品の販売や日々の活動紹介を通じ､障害への理解を深めていただくイベントです。

今年はハーブティーを出品し、試飲コーナーを設けてお客様に味わっていただきました。そのお客様の中から「一宮町でカフェをオープンしたのだが、ハーブを卸してもらえないか」とのお話がありました。残念ながら、卸せるだけの生産余力がなく、辞退と相成りました。販売を手伝ってくれた利用者さんが、とても気持ちの良い接客をしてくれたことには感謝・感激でした。

3/23 いすみ鉄道サークル ～あなたは撮り鉄？乗り鉄？～

ピア宮敷きっての鉄道好き利用者さん４名で国吉駅から城見ケ丘駅間を乗車しました。ある方は車両先頭にに移動し、かぶりつきの特等席から車窓を堪能、ある方は「この車両は比較的に新しいものだ」とうんちくを語り始め、すっかり鉄道に魅了されていました。

4/29 ガーデンパーティー ～It’s Show Time.～

ピア宮敷中庭を会場に初の試みとして開催しました。普段は真面目なあの支援員も、シャイな言い訳、仮面で隠して…。支援員は仮装姿で参加し、精一杯盛り上げました。今日に限って支援員はエンターテイナー兼任です。

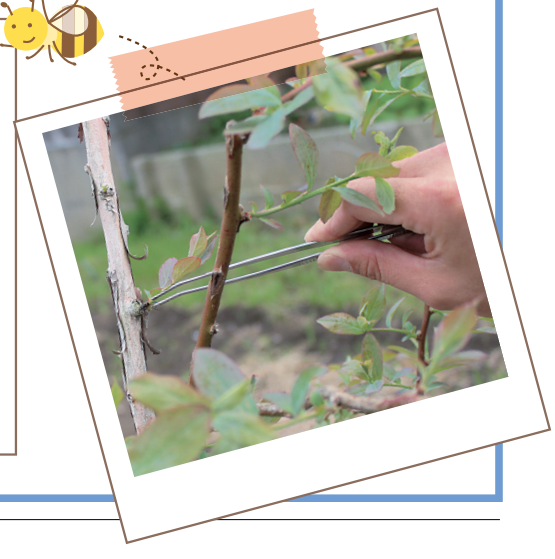
ブルーベリー農場だより

ブルーベリー班から近況報告です。

○谷上農場…早生のブルーベリーを栽培しています。本来なら今頃、早生種は実が膨らんでいる時期なのですが、まだ樹が若く、幹を成長させる必要があるので、花芽を摘んで花を咲かせないようにしています。養分を開花にではなく樹の成長に向けるためです。まだ今後数年は花を咲かせず、樹を大きくさせます。

○太東農場…晩生のブルーベリーを栽培しています。今ちょうど開花しています。満開です。このあと実が膨らんできます。７月中旬以降、収穫が期待できそうです。

両農場とも現在は毛虫取りが大変です。毛虫は葉や実を食べてしまうので、箸やピンセットで摘まみ、取り除いています。



讃岐うどんのおいしいお店 就労体験館「どんちゃん」

石森 征義

ご飯ものに新メニューが加わりました。「和風カレー丼」です。当店人気ナンバーワンうどんは「カレーうどん」ですが、そのカレールーはコクのあるうどんだし汁によって溶いた独特の味です。そのルーをご飯にたっぷりかけてございます。「かしわ飯」ともども、ご飯ものも充実。是非一度、お召し上がりください。

また、5月より以下の夏メニューを始めました。「じゃじゃ麺」「サラダうどん」「ブルーベリーサラダうどん」「ブルーベリーざるうどん」です。

ちなみに昨年の夏うどん人気ランキングトップ3は

①カレーうどん　530円
②じゃじゃ麺　530円
③ブルーベリーサラダうどん　530円

でしたが、今年はどうなるでしょう？

6月1日　新発売！ 和風ミニカレー丼

ミニサイズ　250円

どんちゃんで一番人気の“カレーうどん”。そのカレールーとコクのあるうどんダシによって独特の“どんちゃん 和風カレー丼”ができました。

どんちゃん 商品価格改定のお知らせ

4月1日より消費税の増税および度重なる原材料の価格高騰のため、価格改定を行いました。（かけうどん300円→330円、カレーうどん500円→530円、等）これを機にさらなる品質向上とサービス向上を追求し、新商品もどんどん投入し、なおいっそうお客様にご満足いただけるように努めて参ります。

＊Pia Information＊

納涼祭ピアフェスタのご案内

日時：7月26日(土)
16：00～19：00（雨天中止）
場所：ピア宮敷中庭

たくさんの模擬店とスペシャルなゲスト出演者。
今年もやります、流しそうめん。夏の夕べに精一杯のおもてなしをさせていただきます。
どうぞお越しくださいませ。

グループホーム「くわたき・弐番館」にスプリンクラー設置!!

3月中に設置工事が完了しました。

入居利用者で喫煙する方はおりませんが、これで防火体制が強化され安心です。

ホームページついに開設!!

本誌前号で1月中にもホームページ開設予定とお知らせしましたが、諸事情で開設が遅れておりましたところ、今月から閲覧可能となりました。こまめにアップデートして参りますので、本誌ともどもよろしくお願い致します。

後援会入会のご案内

後援会では、「社会福祉法人　土穂会　ピア宮敷」の運営を支援するため、積極的に活動しております。

入会のお問い合わせは、後援会事務局までどうぞ。

☎0470-87-9631
（ピア宮敷内）

短期入所等のご利用について

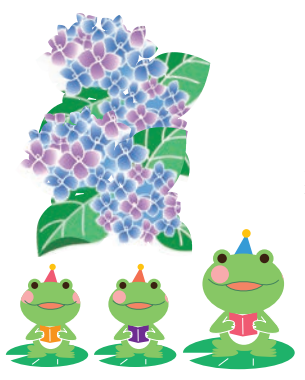
ピア宮敷では、短期入所（宿泊）事業を実施しております。日中のみの利用につきましても、各市町村から委託（日中一時支援事業）を受け実施しておりますので、ご利用に当たりましては、まず、お住まいの市町村福祉課もしくはピア宮敷までご相談ください。

今後の予定

5月	千葉県障害者スポーツ大会・陸上競技（25日）
6月	千葉県障害者スポーツ大会・卓球（1日）
	千葉県障害者スポーツ大会・ボーリング（8日）
7月	納涼祭ピアフェスタ（26日）、プールサークル
8月	夏期帰省期間（13日～17日）、プールサークル
	秋の生き活きフェア 茂原ショッピングプラザアスモ
9月	岩熊地区祭礼（14日）
10月	創立記念行事 手をつなぐスポーツのつどい（22日）
11月	いすみふるさと祭り（3日）

編集後記

▼本誌で紹介しましたが、この春、1名の新入職員を採用しました。離職率が高い福祉業界と言われますが、当法人は比較的ベテラン・中堅職員が多く、創立以来の〝生き字引〟的職員も健在であります。▼鰻や焼き鳥の名店でよく、「創業以来、継ぎ足ししてきた秘伝のタレを使っています」と聞きます。利用者・職員間による濃厚な相互作用で醸成されてきた、現在のピア宮敷総体を〝秘伝のタレ〟としますと、そこに飛び込む新入職員はいわば〝継ぎ足しのタレ〟。秘伝のタレにどのような味の変化をもたらすのでしょうか？期待しましょう。



新入職員のご紹介

濤川（なみかわ）　紀之（のりゆき）

①趣味・特技　②抱負

①買い物（アクセサリー類を集めるのが好きです。裏原宿のショップに良く行きますが、TOKIOの長瀬智也さんに遭遇します。）、いくらでも寝られること。
②少しずつ仕事に慣れてきましたが、まだまだ皆さんに迷惑をかけてばかりなので、少しでも早く一人前になれるよう頑張ります。